

○計画期間：平成24年12月～平成29年3月（4年4月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成26年度終了時点（平成27年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成24年12月以降、認定基本計画に基づき、「歩いて健康 活気ある居心地良いまち」といった方針のもとに各事業を実施している。

上山型温泉クアオルト構想による事業では、国内初の取り組みである気候性地形療法によるウォーキングなど温泉保養地での滞在時間を長くするための各種プランを実施中である。上山城の拠点機能の強化や歴史的建造物などの整備により観光資源の魅力を磨き上げるとともに、それらを繋いで回遊を促す回遊ルートの整備を進めており、回遊ルート的美装化の進展や上山城周辺の既設トイレのユニバーサルデザイン改修完了によって、気軽に散策できる魅力的な歩行空間が完成しつつある。平成26年度には、歩行者誘導案内板の設置及びウォーキングの発着地点となる駐車場の整備により利便性を向上させた。平成25年11月から始まった「まちなかウォーキング」を継続的に実施するとともに、平成26年度は「早朝ウォーキング」なども実施し、中心市街地エリア発着ウォーキングについては全136回開催、1,711人の参加者が得られた。回遊ルート的美装化の更なる進展等により、今後、「まちなかウォーキング」への参加者の増加やまち中の市民及び観光客の回遊性の促進が期待される。

また、中心商店街の賑わい創出のための事業として、地域商店街活性化事業（にぎわい補助金）を活用した上十日町商店会による「いろは市」が開催され、7,000人の来場者実績となり、前年実績（6,000人）を上回ったほか、駅前商店会の黄金市、石崎商店会のかっぱ市、二日町ショッピングセンター協同組合の夕市など各商店会による商業祭及び飲食店組合によるスタンプラリー形式によるイベント開催など、賑わい創出を図っている。加えて、かみのやま温泉商店街振興会が設立され、先進地視察研修を実施するなど今後の事業展開について検討を行っている。現在の効果は、イベント開催時の一時的なものであり、継続的に賑わいを維持するまでには至っていないが、定期的開催することで、出店者にとっては新たな顧客が来店するきっかけとなり、さらにはリピーター化による中心商店街への集客効果と賑わいづくりが図られることから、今後も継続的に事業を実施していく。

なお、平成26年6月～9月まで山形ディスティネーションキャンペーンが開催され、中心市街地への観光客の入込増加に大きな期待が寄せられていたが、円安によるガソリン代高騰や豪雨に見舞われ天候に恵まれなかったことなどから、期待したほどの効果が表れなかった。

2. 平成26年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

目標数値の「歩行者通行量」については、回遊ルート的美装化や駐車場の整備、まちなかウォーキングの開催増などにより平成25年度から2年連続で増加しており、今後はコミュニティセンター整備も予定されており、市民及び観光客のさらなる回遊性

の促進が期待される。目標数値の「まち中の交流施設利用者数」については、平成 26 年度は前年より微減したものの、今後は、小学校改築整備事業（屋内運動場・多目的ホール）などの効果が期待される。

また、商店会等のイベント開催では継続的に賑わいを維持するまでには至らないものの集客効果が見られることから、中心市街地賑わい創出支援事業などのソフト事業を実施するとともに、各店舗においても新規顧客の獲得や来店回数の増加を目指した取組を充実していくことが必要である。

認定基本計画に基づく上山城拠点機能強化事業・特別展開催事業、回遊ルート的美装化、高齢者サロン社会実験などを継続実施するほか、目標達成に寄与する主要事業としている温泉クアオルト拠点施設整備事業の機能充実に向けた検討、平成 25 年に基本計画を変更し追加したコミュニティセンター整備事業などの対策を講じる必要がある。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
市民及び観光客の回遊促進・商店街の利用促進による賑わい創出	歩行者通行量(休日)	2,398 人 (H21)	2,566 人 (H28)	1,799 人 (H26)	②	②
市民及び観光客の居場所づくり・市民活動の拡大による賑わい創出	まち中の交流施設利用者数	37,419 人 (H21)	60,000 人 (H28)	51,080 人 (H26)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①「歩行者通行量」について

平成 21 年の基準値 2,398 人に対し、基本計画が認定された平成 24 年の実績値が 1,610 人となり、基本計画における推計値を大きく下回る状況となった。認定基本計画に基づく、中心市街地賑わい創出支援事業、上山城拠点機能強化事業・特別展開催事業、回遊ルート的美装化、高齢者サロン社会実験の実施などにより、平成 25 年の実測値は 1,639 人と増加に転じ、平成 26 年の実測値は 1,799 人とさらに増加した。

なお、平成 26 年には、中心市街地の複数の菓子店が経済産業省の小規模事業者持続化補助金を活用して店舗内にお休み処を設置するなど、個店ごとの取組により魅力が向上しており、まちなかを歩いている人が増えているという生の声も聞かれている。

平成 27 年には、認定基本計画において目標達成に寄与する主要事業としている温泉クアオルト拠点施設整備事業について、より集客効果が図られる設備とするため関係機関との具体的な検討を重ね、にぎわい創出を図っていく。また、中部コミュニティセンター完成に向けて充実したソフト事業を計画するなど、目標達成にむけ最大限努力していく。

②「まち中の交流施設利用者数」について

平成 25 年の実績値は 51,501 人であったものの、平成 26 年度の実績値は 51,080 人とわずかに減少した。目標値の 60,000 人に近づけるため、上山小学校（多目的ホール）改築整備、温泉クアオルト拠点施設整備の実施を予定している。

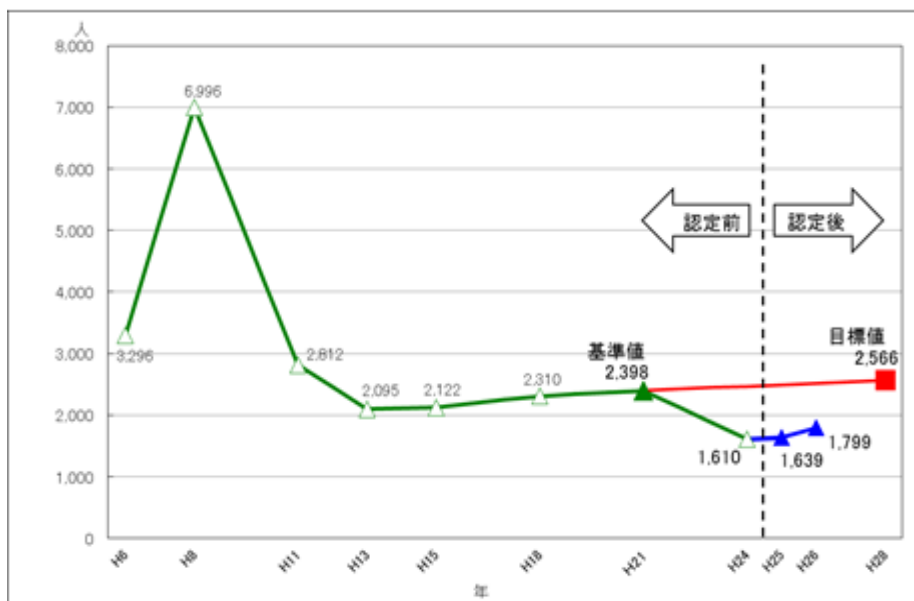
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者通行量（休日）」※目標設定の考え方基本計画 P61～P72 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H21	2,398 (基準年値)
H24	1,610
H25	1,639
H26	1,799
H27	
H28	2,566 (目標値)

※調査方法：歩行者、毎年9月の第1週日曜日に7地点において8～19時で計測

※調査月：平成26年9月

※調査主体：上山市・上山市商工会

※調査対象：中心市街地内7地点（旧山交待所、矢来三丁目、石崎A1前、カミン前、やぐら前、旧トキワ館前、旧ミヨシヤ前）における歩行者の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 温泉クアオルト拠点施設整備事業（上山市）

事業完了時期	【未】平成27年度
事業概要	観光客や市民の健康ウォーキングやまちなかウォーキングの起点となるほか、観光案内機能、ギャラリーなどを併設して複合

	的な機能を備えて回遊型観光の拠点となる温泉クアオルト拠点施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	温泉クアオルト拠点施設の機能強化について検討を行っており、備えるべき機能や規模等について詳細を協議中である。
②. 上山型温泉クアオルト構想事業（上山市）	
事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	市民の健康増進と交流人口の拡大を目的に、平地の里山・温泉地区（標高 180m）と標高 1,000m の地区の標高差を活かし、両地区を連携させ、気候性地形療法による健康ウォーキングを実施する。さらに、市街地の美装化した道路を使い、まち中のウォーキングも実施する。 また、入浴を併用した健康づくりの連泊ツアーを実施し、健康づくりのための里山や準高所のウォーキングと市街地の歴史小路（フットパス）を活用したまち歩きや商店での様々な体験を組み合わせる事により多様な魅力づくりを行い回遊型観光の普及拡大に努める。
事業効果及び進捗状況	「上山型温泉クアオルト構想」を策定し、構想に基づき、ウォーキングによる医科学的効果検証、毎日ウォーキングなどを実施している。平成 25 年 11 月から始まった「まちなかウォーキング」を継続的に実施するとともに、平成 26 年度は「早朝ウォーキング」なども実施し、中心市街地エリア発着ウォーキングについては全 136 回開催、1,711 人の参加者が得られた。
③. 上山城拠点機能強化事業・特別展開催事業（上山市）	
事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	歴史資料館としての機能を強化するとともに、回遊型観光の拠点として、スクリーンなどを設置し、集客のためのイベントの開催に努めるほか、情報発信基地として、市民からも観光客からも親しまれる施設を目指す。さらに、上山城を拠点とした回遊の起点となる広場の整備を行う。 また、上山城での歴史と文化等をテーマにした企画展示会を開催する。
事業効果及び進捗状況	上山城内 1 階フロアのバリアフリー化、上山城展示室の改装、観光用ソフトの作成と編集、大型パネルの設置、上山城広場舗装整備などを平成 25 年度までに完了し、平成 26 年度は売店トイレの美装化及び上山城広場舗装整備工事を実施した。また、平成 26 年度は、企画展示会を 6 回開催し、入館者数 52,273 人の実績であった。
④. 山城屋保存・活用事業（株葉山館）	
事業完了時期	【未】平成 26 年度
事業概要	山城屋旅館は、地元出身の歌人齋藤茂吉の実弟が経営していた

	<p>旅館で、茂吉も頻繁に訪れていた。木造和風の建物は清楚な美しさが漂い、大正時代に建てられた旧館と蔵は国の登録文化財にも指定されているが、平成 22 年 6 月から閉館されて現在に至っている。</p> <p>この歴史的建造物を市で取り組んでいる温泉クアオルト事業を実践するための宿泊施設・休憩施設として再整備する。長期滞在にも適合する宿泊施設、まち歩きやウォーキングの疲れを癒す温泉入浴施設、地元の食材などにこだわった健康食メニューを提供するレストランに加え、更衣室、荷物預かり施設、シューズ・ウェア等のレンタル等まちなかウォーキングの基地としての機能も備える。</p>
事業効果及び進捗状況	<p>経済産業省の平成 25 年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金事業の採択を受け、厨房器具等の設備投資を行い、平成 27 年 4 月に施設の一部を利用してランチ営業を開始した。今後、保存・活用方法について引き続き検討の上、事業実施予定となっている。</p>

⑤. 長屋門長屋整備事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	NPO 上山まちづくり塾と大学生がコラボレーションしてセルフビルドで改装した空き店舗長屋門長屋を、市民や観光客が立ち寄るギャラリーと体験工房として活用し賑わいを創出する。
事業効果及び進捗状況	長屋門長屋を、市民や観光客が立ち寄るギャラリーと体験工房として活用し、平成 26 年度は、開館日 150 日、来訪者数 1,439 人の実績であった。

⑥. 道路の美装化事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成 27 年度
事業概要	蔵王が眺望できる月岡公園・上山城を中心に、武家屋敷通りの美装化により結ばれた湯町、新湯の温泉街と、歴史的な街並みが残る十日町商店街を結んだ散策路の美装化等によって、気軽に散策できる魅力的な歩行空間を整備する。
事業効果及び進捗状況	道路の美装化事業の進捗状況は 81%程度であり、平成 27 年度の事業完了に向け、事業を実施している。 美装化の完了した道路については、まち歩きする市民及び観光客が増加したとの声も聞かれ、回遊性の促進効果が期待される。

⑦. 図書館・店舗連携事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	ショッピングプラザカミン内に立地する市立図書館とカミン内店舗及びカミン外の各商店が連携し、図書館利用者が各商店を利用した場合の割引制度を推進し、商店の利用者増加につながる事業を推進する。

事業効果及び進捗状況	カミン内の市立図書館とカミン内 6 店舗が連携し、図書館利用者割引制度を実施。平成 25 年度は割引制度利用者数が伸び悩んだが、平成 26 年度は 1 日平均 15～20 人が利用し、利用者が徐々に増加している。今後、更なる利用店舗の拡大に向けて、二日町ショッピングセンター協同組合や十日町商店街などに協力を依頼しながら、カミン内他店舗、カミン周辺商店街への参加の呼びかけなどを実施していく必要がある。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑧. 一店逸品開発推進及び特産品開発事業（商工会）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	優れた農産物、物産品、製造品などに磨きをかけ、研究会活動を通じて個店の商品の見直しと開発を進め、かみのやまブランドの形成を継続的な取組みとして実施し、個店及び商店街の魅力アップや周辺への波及効果に努める。
事業効果及び進捗状況	各商店会の自発的活動として、個店の一押しの商品などを紹介する店舗紹介及びメニュー冊子などの作成が行われている。平成 27 年度においても店舗紹介及びメニュー冊子の作成が予定されており、このような活動をとおして集客力の向上を図っている。

⑨. 食の駅設置事業（めでた♪めでた花のやまがた観光圏推進協議会）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	地元食材、地場産農産物、伝統野菜を使用したご当地メニューや無くなりつつある郷土食、村山地域の伝統食を提供する店を「食の駅」に認定し、新たな魅力を発信し、滞在の促進とリピーターの確保を図る。
事業効果及び進捗状況	顧客としてのリピート率の向上と観光客の回遊性の向上を図るため、「食の駅」として「食」に限定した魅力発信から、多分野にわたって発信する「はしご湯治」「はしご御飯（ぐるめ）」の事業を実施している。 本市の魅力である「湯治（温泉）」、「グルメ」の分野で地元旅館・商店に呼びかけ、平成 25 年度に引き続き「はしご湯治」は市内 11 店舗が参加した。また、「はしご御飯（ぐるめ）」事業には 10 店舗が参加しスタンプラリーを実施した。

⑩. カミン集客力強化事業（上山二日町ショッピングセンター協同組合）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	上山市の特産品を集約した物産・産直機能を強化し、地元消費及び観光客の利用拡大を図り集客力を高める。また、観光や市民、各地区などが開催するイベント情報などの発信とインフォメーション機能を強化する。
事業効果及び進捗状況	カミン 1 階において、上山の特産品・地場製品の展示、広報宣伝事業を実施し、平成 26 年度は展示事業所数 20、販売事業所数

21 であった。さらに夕市の開催やZAOたいらぐら直売所による農産物の直売など集客力強化を図ったが、平成 26 年度のカミン全体の売上高は前年比 97.9%とわずかに減少した。

⑪. 中心市街地賑わい創出支援事業（各商店会、観光物産協会、商工会、各種実行委員会等）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	商工会や商店街が開催する定期市、商業祭、100 円商店街などの定着を図り、賑わいの創出に努める。
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度は経済産業省の地域商店街活性化事業（にぎわい補助金）を活用した上十日町商店会の「いろは市」が開催され、来場者数が 7,000 人の実績となり、前年実績（6,000 人）を大きく上回ったほか、駅前商店会の黄金市、石崎商店会のかっぱ市など各商店会による商業祭の開催や飲食店組合の設立及びスタンプラリー形式によるイベント開催など賑わい創出を図っている。

⑫. 高齢者サロン設置社会実験・設置事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成 27 年度
事業概要	空き店舗等を改修して高齢者が気軽に立ち寄り、趣味の活動や交流ができる場を整備することにより、介護予防、核家族化や高齢化の進展に対応した支え合いのまちづくりを推進する。
事業効果及び進捗状況	市内の「ひとり暮らし高齢者等実態把握調査」を踏まえ、高齢者の孤立予防、交流促進のため、カミンの空き店舗スペースに常設型高齢者サロンを社会実験事業として開所している。 利用者数は、平成 25 年度は 16,969 人であったが、平成 26 年度は 16,825 人とわずかに減少した。 平成 23 年度～27 年度は、社会実験事業として開所し、平成 27 年度末に社会実験事業の総括を踏まえ、設置する。

⑬. まちづくりセンター充実事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	市民によるまちづくり活動をサポートし、観光、商業分野との連携など、共通の目標に向けて調整を行うコーディネーター機能の強化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度は市民活動推進員 1 名を配置し、コーディネーター機能の強化を図り、市民によるまちづくり活動をサポートしている。まちづくりセンターの利用者数は、平成 25 年度は 4,202 人であったものの、平成 26 年度は 3,324 人と減少した。 平成 27 年度は、地域おこし協力隊の活動と連携しながら事業を実施する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

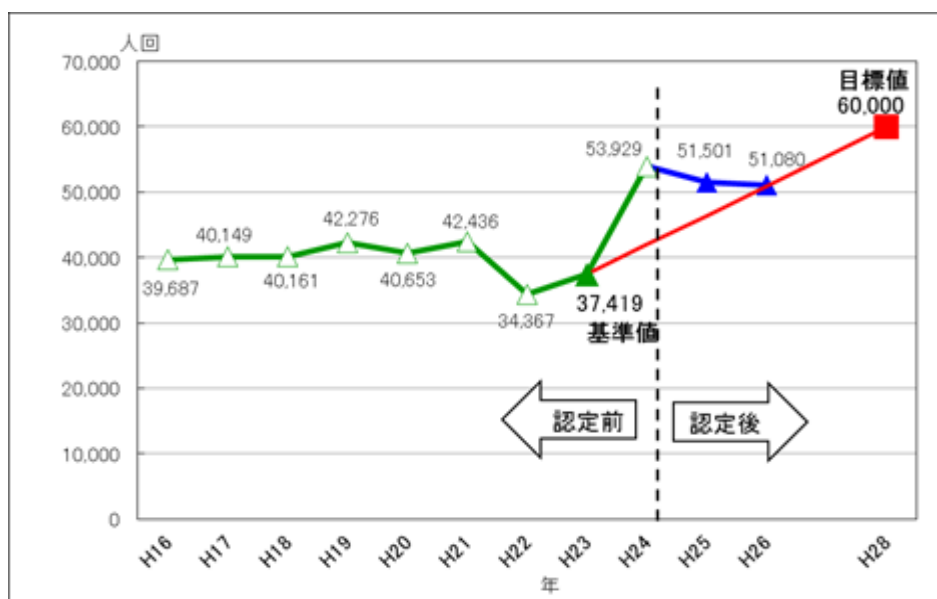
平成 21 年の基準値 2,398 人に対し、基本計画が認定された平成 24 年の実績値が 1,610 人となり、基本計画における推計値を大きく下回る状況となった。認定基本計画

に基づく、中心市街地賑わい創出支援事業、上山城拠点機能強化事業・特別展開催事業、回遊ルート的美装化、高齢者サロン社会実験の実施などにより平成25年の実測値は1,639人と増加に転じ、平成26年の実測値は1,799人とさらに増加した。

中心市街地賑わい創出支援事業等の拡大や認定基本計画において目標達成に寄与する主要事業としている温泉クアオルト拠点施設整備事業の機能強化、平成25年に基本計画を変更し追加したコミュニティセンター整備事業などの対策を講じ、目標達成にむけ最大限努力していく。

「まち中の交流施設年間利用者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P73～P77 参照

●調査結果の推移



年	(人回)
H23	37,419 (基準年値)
H24	53,929
H25	51,501
H26	51,080
H27	
H28	60,000 (目標値)

※調査方法：利用者数、毎年4月～3月までの実績値を集計。

※調査月：平成26年3月

※調査主体：上山市

※調査対象：まち中の交流施設7施設（働く婦人の家、アビヤント・K、上山小学校屋内運動場、まちづくりセンター、上山小学校多目的ホール、温泉クアオルト拠点施設、高齢者サロン）における年間利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高齢者等サロン整備事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成27年度
事業概要	空き店舗等を改修して高齢者が気軽に立ち寄り、趣味の活動や交流ができる場を整備することにより、介護予防、核家族化や高齢化の進展に対応した支え合いのまちづくりを推進する。
事業効果及び進捗状況	市内の「ひとり暮らし高齢者等実態把握調査」を踏まえ、高齢者の孤立予防、交流促進のため、カミンの空き店舗スペースに常設型高齢者サロンを社会実験事業として開所している。利用者数は、平成25年度は16,969人であったが、平成26年度は16,825人とわずかに減少した。

	平成 23 年度～27 年度は、社会実験事業として開所し、平成 27 年度末に社会実験事業の総括を踏まえ、設置する。
--	------------------------------------------------------------

②. 上山小学校改築整備事業（屋内運動場・多目的ホール）（上山市）

事業完了時期	【未】平成 27 年度
事業概要	上山小学校は耐震化のため、建て替える必要があり、その整備が急がれている。この場所は上山城、武家屋敷、湯町に囲まれた位置にあるため、周辺の景観にマッチした外観となるよう配慮をする。また、周辺を散策する人も多く、学校の一部を開放エリアとし、イベントや団体の活動として使用できる多目的ホールを有する屋内運動場を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成 27 年度に事業実施を予定していたが、資材や人件費の高騰等のため上山小学校の校舎建設に遅れが生じた影響により、事業期間は平成 27～28 年度に変更を予定している。

③. 温泉クアオルト拠点施設整備事業（上山市）

事業完了時期	【未】平成 27 年度
事業概要	観光客や市民の健康ウォーキングやまちなかウォーキングの起点となるほか、観光案内機能、ギャラリーなどを併設して複合的な機能を備えて回遊型観光の拠点となる温泉クアオルト拠点施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	温泉クアオルト拠点施設の機能強化について検討を行っており、備えるべき機能や規模等について詳細を協議中である。

④. まちづくりセンター充実事業（上山市）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	市民によるまちづくり活動をサポートし、観光、商業分野との連携など、共通の目標に向けて調整を行うコーディネーター機能の強化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度は市民活動推進員 1 名を配置し、コーディネーター機能の強化を図り、市民によるまちづくり活動をサポートしている。まちづくりセンターの利用者数は、平成 25 年度は 4,202 人であったものの、平成 26 年度は 3,324 人と減少した。 平成 27 年度は、地域おこし協力隊の活動と連携しながら事業を実施する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 23 年度の基準値 37,419 人に対し、平成 24 年度の実績値は 53,929 人、平成 25 年度の実績値は 51,501 人、平成 26 年度の最新値は 51,080 人と前年比でわずかに減少した。平成 24 年度は、高齢者サロン社会実験の実施により増加したものの、平成 25 年度は、働く婦人の家の利用者の高齢化による活動サークル数の減少等により前年比で 2,428 人減少した。平成 26 年度は、働く婦人の家及び上山小学校屋内運動場の利用者数が増加したものの、アビヤント・K、まちづくりセンター及び高齢者サロンの利用者数が減少したことから、全体として前年比で 421 人減少した。

平成 26 年度は 2 年連続の減少となったものの、高齢者サロン社会実験の事業内容の見直し、目標達成に寄与する主要事業である上山小学校（屋内運動場、多目的ホール）改築整備、温泉クアオルト拠点施設整備の実施などにより、目標値である 60,000 人の達成は可能と見込んでいる。